

事業報告

〔自 令和 6年 4月 1日〕
〔至 令和 7年 3月 31日〕

1.事業の概況

(1) 事業の経過及び成果

前期に引き続き、富山市の公共施設である八尾地域都市公園、神通川水辺プラザ自然ふれあい学習館、久婦須川ダム周辺広場、八尾パインパーク、八尾サンパーク、八尾ゆめの森交流施設の指定管理者として、施設の管理運営業務を行いました。

また、自主事業として、富山八尾中核工業団地内の道路法面の管理業務を受託するなど、自主財源の確保にも努めました。

当社の屋台骨である温泉宿泊施設「ゆうゆう館」では、宿泊及びレストランの客数は前年とほぼ同様であったものの、コロナ前の令和元年度と比較し9割程度に留まりましたが、売上は前年に比べ13%増、令和元年度に比べ8%増となりました。

このことにより、当期純利益は、14,241,778円（営業収益311,293,787円から営業費用298,528,861円を差し引いた12,764,926円に営業外収益及び費用、法人税等を含めたもの）となりました。

(2) 財産の状況

当期末の総資産は130,064,058円、純資産は74,776,087円となりました。

(3) 今後の取り組み

北陸管内の経済動向は、北陸経済調査によれば、総括判断は緩やかに持ち直しているとされているものの、先行きについては、物価上昇やアメリカの政策動向、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があるとされています。

今年1月、ニューヨークタイムズが「2025年に行くべき52か所」に富山市を選定したことは八尾地域の観光に追い風になると考えており、弊社の経営母体であるゆうゆう館もこの波に乗って行きたいと考えております。

そのためには、良質なサービスの提供による再訪率の向上、広告等による積極的な営業、事務処理の効率化などの経営努力を行い、企業収益を改善するとともに、お客様に極め細かいサービスを提供できるよう最大限の努力を払ってまいります。

これからも、地域に根付き、親しまれ、信頼される企業を目指し、より良い施設運営に取り組み、地域の発展に寄与してまいります。